



KANAIWA ONO  
ART PROJECT

# 金石スタジオ 通信

9

金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)。その活動の拠点となっている金石スタジオ(金石西2丁目17-23)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

**AIR**  
アーティスト・  
イン・レジデンス

## ムン・キョンウオン & チョン・ジュンホ

7月28日〜8月6日滞在



### 【滞在レポート】

今年二月に金石に滞在し、作品の制作に取り組んできた韓国在住の二人組のアーティスト

スト、ムン&チョンが再び金石にやってきました！今回の滞在では、作品の撮影とマンホールのデザイン、海岸沿いの防風壁計画など様々なアイデアの実現に向けて、活動を繰り広げていきました。

八月三日の撮影初日は、二月に撮影した場所を再度訪れて、冬とは全く違う夏の金石の景色を撮影しました。翌日は大野湊神社の夏季大祭の米上げや悪魔払い、神輿の御還幸などを撮影し、最終日は本龍寺にてご住職さんや地元クルーの方々にもご協力いただきながら映画のような大掛かりな撮影を無事に終了することができました。モニターに映し出される金石の風景はまるで絵画のようで、暑い中、汗を流しながらカメラ越しに金石を見つめる作家と撮影クルーの姿がとても印象的でした。この作品は、引き続きムン&チョンが韓国で撮影を進め、最来日して金石での音声



本龍寺にて

の録音をし、来年の春頃の完成を目指しています。

また、今回の滞在では金石に設置するマンホールのデザインを決定し、まちを歩きながら設置する位置を決めました。マンホールには地面から見上げた松のデザインと共にメッセージが刻まれていきます。これから実物のマンホールの制作に入り、今年の冬には金石の何カ所かにこのマンホールが設置される予定です



マンホールのデザイン

す。そして防風壁の計画は、金沢出身の建築家、中永さんと共に引き続きプランニングを進める予定です。

昨春秋に金石に初めてリサーチのためにやってきたムン&チョンは、何度も金石に足を運び、少しずつ作品のアイデアを練り上げながら時間をかけて制作に取り組んでいます。「街の中に誰もいないのが印象的だった」という最初の金石の印象は、彼らが感じていた現在の世界への問題意識と重なり合いながら、次第に金石の未来の姿へと変化しているようです。ムン&チョンは次回、十一月末に引き続き金石で制作をする予定です。ですので、まちで二人を見かけたなら気軽に声をかけてください。

(堀江紀子、コーディネーター)

## 田口行弘&キアラ・チッカレッコ

8月23日〜11月中旬滞在

★ムネアゲ

9月14日④ 10時〜17時頃

※参加費無料 ※持ち物：動きやすく安全な服装

※定員20名(先着順、18歳以上)

※雨天順延

かつてふたりがベルリンで建てた小屋の資材を活用し、金石の浜にあつたな居場所を作るプロジェクト「Discovery in Kanaiwa」がはじまります。まずは、解体された資材から、基本的なパーツを組み立てます。一緒に資材運び、組み立てる作業をしてくださる方を募集します。見学もOKです。



組み立ての様子(デンマーク、2016)

PP  
パブリック・  
プログラム

## はま部

★漂着物で何釣れる？浜ど

れ！グッドラックパーティー

9月21日(土) 7時～13時頃

※参加費300円(昼の軽食

含む)

※持ち物：手持ちの釣り竿、

仕掛けなど

※定員15名(先着順、小学生

以下は保護者同伴)

※荒天中止

浜の漂着物を活かして、魚を釣ってみませんか。プラ容器やアルミ缶を、あなたの想像力で浮きやルアーに生まれ変わらせよう！工具や釣り鉤、糸などもいくつか用意してお待ちしています。



## にわ部

地域の皆さんと遊べる「庭」のような畑をスタジオ横につくっています。

★ポットラックパーティー

9月28日(土) 10時～13時頃

10月19日(土) 10時～13時頃

※参加費無料

※予約不要

畑は、秋野菜の収穫と冬に向けた準備が始まります。収穫したものの情報交換の場としてのポットラックパーティー(一品持ち寄りのご飯会)を月一回程度開催しています。話だけでも聞いてみたいという方も、お気軽にお越しください。



〔レポート〕

## まち部

### トークセッション01

岡昇平

金石大野地区がもつ「まちの資源」を掘り起こしつつ、この「まち」のこれからについて考える「まち部」が発足しました。七月二十五日、その一回目のトークセッションを開きました。ゲストとしてお呼びしたのは、岡昇平さん。岡さんは建築事務所「みかんぐみ」で働いたあと、故郷の香川県高松市仏生山地区に戻って、仏生山温泉を運営しながら、「仏生山まちぐるみ旅館」というプロジェクトを十年にわたって続けてきました。「まち」全体を一軒の温泉宿に見立て、道路を廊下に、温泉を浴室に、さらに食事や買い物など、さまざまなお店やテナツを仏生山に点在させることで、温泉という点の地域資源を線で結び、まちの魅力を面へと展開しようとしています。

トークの中で何度も出てきたフレーズが「にやにやすること」。「まちぐるみ旅館の取り組みで大切にしたいこと」



でも最初に挙げていました。まちのコンテナツが豊かになることと、自分たちの暮らしが心地よくなること。日々思う口元が緩んでしまうはず。続いて「みんなをまきこまない」(自由につながり、風通しのよい状態を保つ)、「もりあげない」(もりあがった後は必ずもりさがるから)、「観光地にしない」(日々の暮らしの中にあるものが、自然に観光の資源にもなっていく)ことも、「大切にしたい」と。よく言われる「まちの活性化」の標語とは真逆ですが、彼の歩みそのものでもあり、そこから得た実感がこもった言葉でした。

(中田耕市、金沢21世紀美術館 キュレーター)



## 金石スタジオ

金石西2丁目17-23

バス停「金石」から歩いて5分、海岸通り沿いです。公共交通機関や徒歩、自転車などをご利用ください。

スタッフ常駐は、毎週土曜の15時～18時です。

